

種名	<u>ド</u> <u>バ</u> <u>ト</u> <u>Columba livia</u>													
														
分類	ハト目 ハト科													
特徴	ひさしの下, ベランダ, 橋梁など, 雨の当たらない建築物の中で営巣する。留鳥。 食性: 種子, 昆虫, 人が与える餌													
生活	農耕地, 市街地, 寺社, 裸地, 林縁, 河川。 産仔数: 1 回に 2 卵 繁殖期: 通年繁殖し(4, 5 月が多い), 年 3 回以上繁殖する。													
影響	海外では在来鳥類と餌資源や営巣場所を巡って競合。在来鳥類の営巣場所に捕食者を誘因するという報告がある。糞害による建物の汚染。農作物の被害。航空機・列車などとの衝突。オウム病, クリプトコッカス病を媒介する。 影響を受ける生物: 在来鳥類, 農作物, 人間。													
見分け方	羽色は多様。原種(カワラバト)に近いものは, 全体が灰青色で, 翼に 2 本の目立つ黒帯があり, 尾羽の先端にも幅広の黒帯がある。背と上胸は金属光沢のある緑色と紫色。													
時期	(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
その他	全長(L) 33cm 翼開長(W) cm 日本の侵略的外来種ワースト 100													
参考文献: 国立環境研究所 侵入生物データベース														